

カラードップラ装置を用いた

卵胞血流量の違いによる人工授精の受胎率

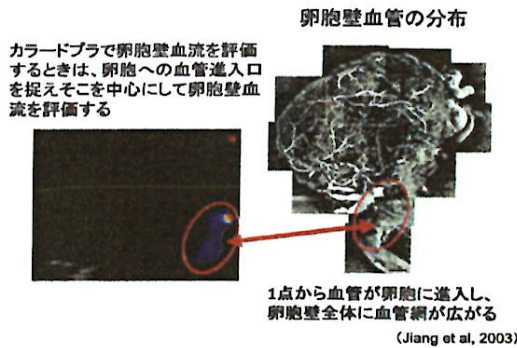
A農場とB農場の2件で血流量別に5段階評価して受胎率を調べてみた

前回に続き卵胞血流量のお話をします。

★卵胞血流量の違いで

受胎率が変わる？

卵胞血流量と排卵率は相関が高いことは前回お話しをしましたが、卵胞血流量と受胎率は相関があるのか調べてみました。

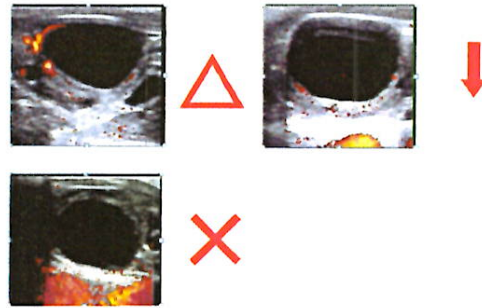


まず卵胞血流量を見る定義として、図の通り卵胞への血管進入口の太い血管を捉えて、そこを中心にして卵胞血流量を評価していきます。卵胞血流量は感度の高いパワータイプで見っていきます。

★卵胞血流量の評価法



発情発見タイミングの違いによる血流量のバラつきをなるべく無くするため、歩数計で発情発見をしているA農場とB農場で発情時の卵胞血流量別、受胎率を調べてみました。



★血流量別の受胎率

A農場	3月～7月までの授精頭数132頭		受胎率	全体の%	
	授精頭数	妊娠頭数			
○	18頭	15頭+	83%	13%	
↑	29頭	18頭+	62%	21%	
△	57頭	18頭+	31%	46%	
↓	25頭	3頭+	12%	18%	
×	3頭	0頭	0%	2%	
B農場	3月～7月までの授精頭数401頭		受胎率	全体の%	
	授精頭数	妊娠頭数			
	○	25頭	21頭+	84%	6%
	↑	40頭	21頭+	52%	10%
	△	198頭	48頭+	24%	50%
↓	133頭	13頭+	10%	33%	
×	5頭	0頭	0%	1%	

A農場 B農場とも同じような結果で、卵胞血流量が良いと受胎率も良く卵胞血流量が低いと受胎率が低い結果になりました。

個々の受胎率を評価してみると牛群全体では見えてきづらい受胎の階層が見えてきました次号ではこの事について説明させていただきます。 太田